

## 尾崎遺跡について



縄文時代の尖底土器



中世の板碑と古銭



弥生土器の甕（奥）と、土師器・須恵器の坏（手前）

昭和 54～55 年に小学校建設に先立ち発掘調査が行われ、旧石器時代から近世にかけての遺物が出土しました。

出土品には、縄文時代早期の底の尖った、尖底（せんてい）土器や、平安時代の側面に「仲」と墨で書かれた須恵器の坏（つき）、奈良・平安時代に火をおこすのに使われた木製の火きり臼（うす）など貴重なものがあります。他にも、中世の古銭や板碑（いたび）と呼ばれる供養塔も出土しており、これらの出土品は区指定文化財となっています。

また、遺跡は保存のために埋め戻され、現在はグラウンドとなり、東京都指定史跡となっています。



### 春日小学校へのアクセス

都営大江戸線練馬春日町駅から徒歩約8分。

A1出口を出て、豊島園通りを道沿いに進み二又を右に。春日町三丁目公園を過ぎて、二又を右に進み、春日小学校正門側へ回る。

この地図の著作権は練馬区が有しています。